

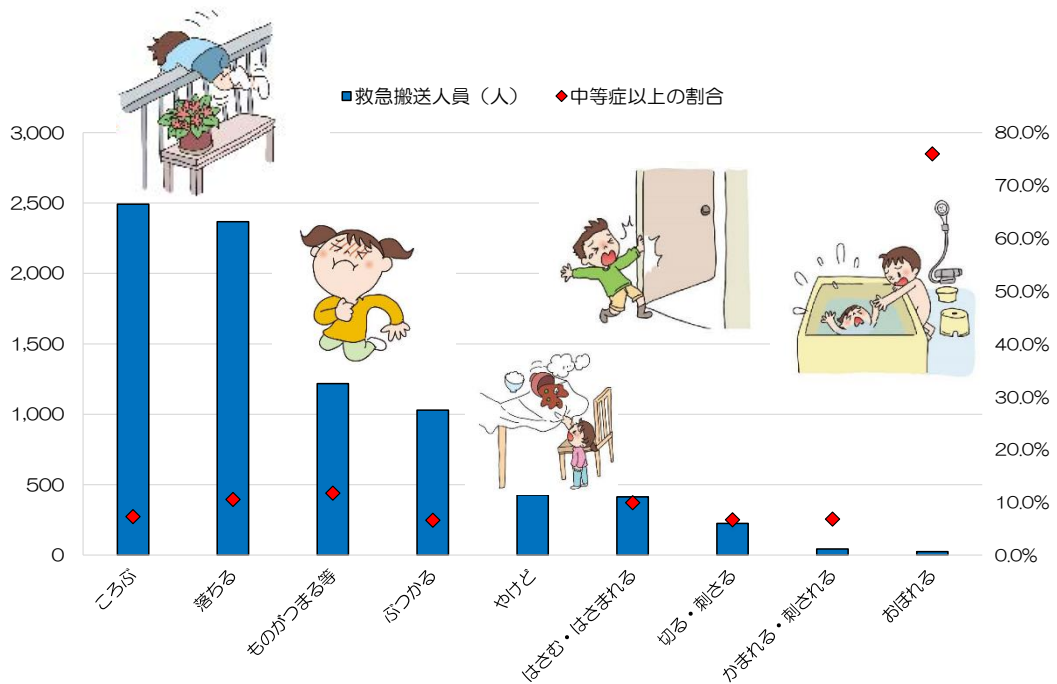
子供の家庭内事故を防ごう！

家庭内で起こる子供の事故について知っていただき、事故を防止しましょう。

1 家庭内事故の発生割合

乳幼児に多い事故と入院が必要とされる中等症以上の割合をみると、救急搬送が多いのは“ころぶ”事故、“落ちる”事故となっています。

また、中等症以上の割合が高い事故は、“おぼれる”事故が最も高くなっています（図1参照）。



事故種別	ころぶ	落ちる	ものがつまる等	ぶつかる	やけど	はさむ・はさまれる	切る・刺さる	かまれる・刺される	おぼれる
救急搬送人員	2,492人	2,368人	1,218人	1,029人	427人	413人	225人	44人	25人
中等症以上の人員	182人	250人	143人	68人	82人	41人	15人	3人	19人
中等症以上の割合	7.3%	10.6%	11.7%	6.6%	19.2%	9.9%	6.7%	6.8%	76.0%

図1 乳幼児の事故種別と中等症以上の割合

2 家庭内事故を防止しよう！

STOP！子どもの「窒息・誤飲」

毎年約1,000人の乳幼児が、窒息や誤飲により救急車で運ばれています。窒息は放置すれば死に至る危険な事故です。



STOP！子どもの「おぼれ」

子どもがおぼれた場所の第1位は
自宅の浴槽です！！



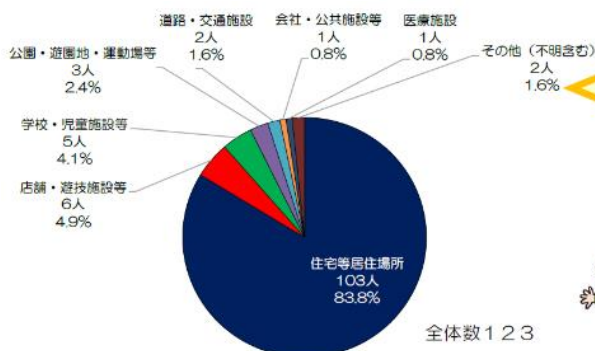
STOP！子どもの「やけど」

味噌汁・スープやポット・魔法瓶、熱湯によるやけどが多く発生しています。



STOP！子どもの「はさまれ」

子どもの「はさまれ」の原因で**一番多いものは、
手動ドアのはさまれ**



約8割が住宅等の
居住場所です！



STOP! 子どもの「転落」

子どもが窓やベランダから転落する事故が繰り返し起きています。

高所からの転落は、生命に危険を及ぼす可能性が高い事故です。



さらに「STOP!子供の事故」の詳しい内容を知りたい方は、「お知らせ」にある冊子をダウンロードしてください。

子どもの電子レンジでの事故を防ごう

過去に子どもが留守番中に、電子レンジで食材を長時間加熱しすぎて火災になるなど、誤った使い方により火災や事故が発生しています。

詳しくは、東京消防庁ホームページ「留守番中の事故を防止しよう」特設ページにあります。電子レンジの火災の実験映像もありますのでご覧ください。